

未来の子どもたちに必要な力とは？

# 「新時代」の子どもたちを 大人はいかに育てるのか

情報化やグローバル化が人知を超えて加速度的に進展している現代、  
多くの仕事はいずれAIに取って代わられると取り沙汰されるようになりました。

これからの子どもたちは「人間にしかできない仕事」に就くために、  
時代に応じた能力を身につけなければなりません。

教育の在り方もまた変化を求められることから、

文部科学省は2020年より学習指導要領を大きく改訂し、  
教育改革を行うことを発表しました。

アクティブラーニングやプログラミング教育など、

自分たちの時代には無かった技能を修得する子どもたちを、  
大人たちはどのように教育していけばいいのでしょうか。

孫泰蔵氏をはじめとした登壇者の皆さまより、

「自分自身で未来を切り拓く子ども」を育てるためのヒントを伺いました。

2019年2月17日、BASE Qホール  
(in東京ミッドタウン日比谷)にて2  
月例会「新時代の子育て」を開催し  
ました。

3部構成の本会では、総勢520名  
というたくさんの方々にご参加いた  
だき、大盛況にて終了しました。



## 子どもの想像力を育むためには 大人自身が時代を捉えなければならない

**モ** デレーターを務めた公益社団法人東京青年会議所 教育政策委員会 委員長 山崎恵君による問題提起からスタートした2月例会。「直面」と銘打たれた第一部では、基調講演としてMistletoe株式会社ファウンダーの孫泰蔵氏にご登壇いただきました。ご自身の体験談や孫家の家訓などをユーモア溢れる論調でお話しされると同時に、これからの時代を生きる子どもたちへの思いについて語っていただきました。

取り組み事例として紹介されたのは、孫氏が自ら手掛けるプロジェクトである「VIVITA」。子どもたちが主体となって、自由なクリエイティブ活動ができる無償のワークスペースです。子どもたちに「世界は変えられる」という体験をもたらす大胆な試みに一同驚嘆。子どもの「非認知能力」を育てるには、教育を行う大人自身が時代を捉え、思考を止めることなく方法論を模索しなければいけないことを痛感しました。



## 行動の先に学びがある 「やってみよう」を制限しない

**客** 席に小学生が加わった第二部「対峙」では、CURIO SCHOOL取締役である染谷優作氏にモデレーターとして登壇いただきました。哲学者の中島芭旺氏、ALL東北教育フェスタ代表の千葉百華氏、ワンファイナンス株式会社CEO山内泰人氏の3名をパネリストに迎え、10代より新時代の最先端を走るそれ

ぞれの立場から、自身の経験談や理想の教育についてお話しいただきました。

3人の皆さんに共通していることは、まずは「やってみよう」という気持ちに忠実に行動していること。そしてその失敗の中から学びを得たり、目標への道りを自分自身でデザインしたりと、自分の頭で考え行動することの大切さが語られました。



## 「なぜ？」の問いを繰り返し 社会で生きる力を身につける

**第** 三部「出発」では、5名ずつに分かれてのグループワークを行いました。「新しい教育」の体験ブースからヒントを得ながら「今日、明日から行動するコミット」を考え、一人ひとりがまずは何をすべきかを考えるきっかけとなりました。

2月例会では、参加者から質問をLINE@を通じて投稿いただき、その場で講師から返答をしていただく試みも行いました。講師と参加者が一体となり、教育に関して意見交換を行うことのできた例会となりました。

